

日本語の発音/拍
Japanese pronunciation

日本語では母音や子音の長さを表すときに「拍」という単位を使います。英語ではモーラ(mora)と言います。ひとつの拍はだいたい同じ長さです。

In Japanese we use the word *haku* to express a basic unit of sound. *Haku* are called 'mora' in English. Each *haku* has approximately the same length.

「さくら」 is made up of 3 *haku*. (さ/く/ら sa/ku/ra)

「あい」 is made up of 2 *haku* (あ/い a/i)

日本語の拍は子音と母音、または母音だけで構成されます。つまり拍のミニマムの構成要素は母音です。

Haku are made up of a consonant and vowel, or a vowel only. A vowel is the minimum component of a *haku*.

- でも以下のケースは特別なケースです。子音だけですが1拍の長さがあります。

However in the following special cases a consonant makes up one *haku*.

「きつて」 is made up of 3 *haku* (き/っ/て ki /t /te)

「りんご」 is made up of 3 *haku* (り/ん/ご ri/n/go) 、

- 長母音は2拍分の長さがあります。

Long vowels are made up of 2 *haku*.

「さとう」 3 *haku* さ/と/う sa/to/o

さとうの2拍めは長母音です。それで合計3拍分になります。

さとう consists of さ and a long vowel, so there are 3 *haku* altogether.

- 拗音は、ひらがなは2字ありますが、音としては1拍です。

Combined sounds are written with two hiragana letters but make one *haku*.

「いしゃ」 い/しゃ i/sha

確認してください。

Here are some illustrations of the above.

「おじさん」 4 *haku* 「おじいさん」 5 *haku*

「びょういん」 4 *haku* 「びょういん」 5 *haku*

「コーヒー」 4 *haku* 「フットボール」 6 *haku*

参考「音声を教える」国際交流基金 磯村一弘氏著 2014年4刷発行

Reference: